

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 日	令和4年11月14日（13：30～13：45）
---------	-------------------------

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー	帰山・笠川・西尾・東野
------	-------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人			3人	6人

前回の改善計画	・ケアマネジャーと介護員とでは利用者への初めの関わり方に違いがあるが、今まで通り情報として共有することは継続し利用を通して新たな情報を収集しながら支援につなげていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・緊急に関わりを持つ利用者に対しては十分な情報を共有できないままの始まりになる事がある為、日々の介護員からの情報がとても重要であった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	1			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	3			6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	2			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	3			6

できている点	
--------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ケアマネジャー、家族、利用者、近所の方を通じて情報収集しながら支援している。・利用時、介護員が利用者との会話の中から本人の思いをはじめ以前の暮らし等を傾聴できており、本人の思い（意向・○○したい）の実現につなぐことができている。・ミーティングでの共有や情報を読むことで新規の方の様子はだいたい把握はできている・ケアマネと介護員とのミーティングや連絡ノートで情報交換をしています・ミーティング時にケアマネからの情報を読んで共有している わからないところなどはケアマネや看護師介護員に確認している・相談の時点からケアマネからの情報を共有し支援につなげられている |
|--|--|

できていない点	
---------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ケアマネジャーとして初期の情報収集が不十分である。・利用者全員の情報を正確には理解できていない。・利用者の本当に必要としている支援がわかりにくいことがある。 |
|--|---|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・初期の情報収集時にこそ聞きにくい内容（金銭的なこと、関係性等）をしっかりと聞き取る・関わる中での情報の変更は都度アセスメントシート（利用者の情報シート）に記入する。 |
|--|--|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和4年11月15日（13：45～14：00）
-----	-------------------------

2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー	森本・原・西尾と・笠川・帰山
------	----------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	3人	2人	1人		6人

前回の改善計画	・ケアプランの目標に合った個々の短期目標や「～したい」が少しでも実現できるよう支援していく
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当利用者のケアプラン変更時にはケアマネジャーを含め担当者が中心になって話し合いを進めている。その情報をもとにケアマネジャーが目標を立て、担当者がその目標に沿った短期目標を立てて支援できている。ミーティングを通して言葉では職員間に伝わってはいるが、記録には残せていないのが課題である。日々の支援の中で気づいた事やできること、できないこと等を記入し振り返り評価することで次の目標、支援へとつなげていくことができる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	3	2	1		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	2	1		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4		2		6
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	2			6

できている点	
--------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ケアマネジャーが立てた目標に対してもっと具体的に個別目標を立てている（担当者が）・ミーティングに参加した職員間で情報共有し、本人ができることを聞いて実現できるように支援している。・「手作業をする」「職員とたくさん話す」など簡単な目標は達成できている。・なるべく利用者の気持ちに寄り添えるように、利用者の「目標」に近づけるように信頼関係を築けるようにしている・個人的に話を聞くことができる時間（送迎時や入浴時）の会話の中から利用者の思いを汲み取るようにしている。 | |
|---|--|

できていない点	
---------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・目標に対しての日々の記録の記入ができていない。目標に対してどのように変わるかが不十分である。・自分の担当の利用者以外の方の目標を忘れていることがある。・利用者の本当の気持ち（「～したい」という気持ち）にきちんと応えられているかが不安である。・ゴールがわかりにくい方がいる。「～したい」を内容によっては実現できないこともある | |
|---|--|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ケアマネジャーが立てた目標に対する具体的な目標を、担当利用者以外の利用者についても把握し日々の様子や言葉、表情を気づいた時点で記録を行っていく。・したい思いとできるタイミングを逃さない関わりを持ち、利用者の心身の状態の維持に努める。 | |
|--|--|

事一②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 日	令和4年11月19日（13：45～14：00）
---------	-------------------------

3. 日常生活の支援

メンバー	原・森本・西尾と・笠川
------	-------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	人	人	2人	6人

前回の改善計画	・日常生活が安定して送れるよう、以前の暮らし方を少しでも把握し、生活環境に取り入れて支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・以前の暮らしと、現在のADL（日常生活動作）、IADL（手段的日常生活動作）の状態を把握し、生活環境を整える事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	3	2	1		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	2			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	2			6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	2			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	2			6

できている点	
--------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・情報をケアマネジャーと介護員とで共有して利用者に合った支援をしている。・本人が自分の意見を言えなくてもその人の気持ちを職員同士で考えて推察している。・本人の気持ちや体調を観察し、その都度、状態に合わせて対応している。・送迎の職員から送迎時の様子を、訪問の職員から訪問の様子を職員に伝達している。 <p>食事、歩行の様子、排泄の状況など利用者一人一人の気かけなければならない点をしっかり支援し、次につなげている</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者のその都度変化していく生活環境や体調に合わせて対応している。・臨機応変に対応している。 | |
|---|--|

できていない点	
---------	--

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・私達が支援していることが本当に利用者にして欲しいことにつながっているのかが不安である・関わりをもった時点で、以前の暮らしについて、本人や家族からじっくり聴くことができない場合、そのまま日々の支援や関わりで精一杯になってしまう。その後、職員が日々の介護の中でゆっくりと話を聞くことができていない。・声にならない声を汲み取っていない。 | |
|--|--|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・在宅生活が継続できるように、本人の思いを傾聴し、意欲の向上に働きかける言葉がけ、ADL の維持への支援を行う | |
|---|--|

事業所自己評価・ミーティング様式	実施 日	令和4年11月21日（13：30～13：45）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	東野・原・西尾と・笠川・帰山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	2人	2人	人	6人

前回の改善計画	・利用者に関わる民生委員や地域の資源など軒下マップを活用して広げていく。 ・ケアプラン変更時には軒下マップを活用し情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当利用者の軒下マップの記入や変更など見直しができている。軒下マップを参考にしながらの活用はできていないが、地域の資源や民生委員、地区社協などの情報はミーティング等で共有している。民生委員や社協の方が用事できらめきを訪れても名前や顔を知っている職員と知らない職員がいる。（ケアマネジャー、運営推進会議や地区行事に参加している職員は知っている。）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	3	1		6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	4			6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		6			6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	3	1		6

できている点	
--------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・利用者と家族や介護者との関係が切れないようにしている・独居や老夫婦世帯の利用者には民生委員、地区社協、包括の方の交わりを必ず持つようにしている（ケアマネジャー）・本人と家族や民生委員、地域の資源などが切れないように支援している・市の弁当利用、家族による病院受診、利用者の住んでいる地域の近所の方へのあいさつを行っている。・情報共有はしている |
|--|---|

できていない点	
---------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・軒下マップの活用ができていない。・地域との関係は認知症が進むと薄れて行ってしまう。「家で暮らして大丈夫なのか?」「施設に入った方がよいのではないか?」と言われる。・事業所が直接接していない時間に本人がどのように過ごしているか、詳しい部分は把握していない。・利用者に関する情報をもっと詳しく収集する必要がある。 |
|--|--|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・軒下マップの活用を行う。・自宅での過ごし方は概ね把握しているが、本人と地域との関係作りに関して、何か関わりが持てないか考えていく |
|--|--|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 日	令和4年11月23日（13：30～13：45）
---------	-------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	東野・帰山・笠川・西尾・原・帰山
------	------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	1人	2人	人	6人

前回の改善計画	・軒下マップを活用して地域資源、社会資源が利用できているか確認をする。また、どのような資源が必要なのかを話し合う。 ・ニーズに合わせ柔軟な対応をしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・人的資源が多い利用者と、協力を仰ぎづらい利用者があることの気付きがあった。 ・地域資源の把握が不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	2	2		6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	1	1		6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	6				6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	1			6

できている点	
--------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ミーティングなどで常に情報共有をしてその方にあった支援をしている・利用者の変化はミーティングで共有できている（ミーティングノートの活用ができている）・地域資源、社会資源を使って利用者のニーズに合わせて支援している。・ミーティングで日々の気づき、変化を共有できている。・通いの追加、訪問の追加等で対応できている。・ニーズに応じて柔軟な対応ができている。・利用者の日々の変化に気づき記録している。 | |
|---|--|

できていない点	
---------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・地域資源、社会資源の理解ができていない。・本当は介護施設に入居した方がいいのではないかとと思われる方が、まだ一人暮らしをしている・急な泊りに対応、連泊については厳しい時もある。・地域資源の把握・利用者の変化を声にして共有できてない時がある。 | |
|---|--|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・軒下マップを活用し地域の資源、人的資源を把握する。・利用者全員の民生委員を把握しつながりを持っていく。・包括、社協とつながっていく | |
|--|--|

事業所自己評価・ミーティング様式	実施 日	令和4年11月26日（13：20～13：40）
6. 連携・協働	メンバー	東野・西尾と・原・森本・笠川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6人	人	人	人	6人

前回の改善計画	・コロナ禍でも現状を把握しながら本部の指示に従い感染対策をしっかりと行い会議や活動に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議が再開できるようになったが、地域での感染拡大や当施設での発生により書面での報告が多くなった。 ・きらめき祭やきらめきサロンについてはまだ再開できていない。 ・生協本部との会議や部門会議は、オンライン（ZOOM）で行っている。 ・ケアマネジャーが参加する会議には感染対策を行いながら参加している。 ・地域の活動や行事には感染状況を確認しながら参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6				6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	1	1		6
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5	1			6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	2	1	6

できている点	
--------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・自分は参加できていないが、ケアマネジャーや担当者は色々な会議には参加している・コロナ禍でも地域の行事等に参加している。・サービス機関との会議、地域の活動には参加できている。・感染対策（距離・マスク）を行い、近隣の高齢者の方と一緒に屋外でリハビリ体操をした・コロナ対策をしながら会議や研修会、活動を行っている。・本部の指示に従っている。 |
|--|---|

できていない点	
---------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍でありまだ、地域の高齢者や子供達はきらめきに訪れていない。・元町地区でコロナ感染が流行した時に、運営推進会議は書面のみに変更した。・他のサービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議には直接参加していない（ケアマネジャーが参加している）・一般の方は施設の中には入れてない。・会議は ZOOM なのでできているが、職員の活動は制限されている。 |
|--|---|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・感染対策をしっかりと行いながら会議や活動が開催できる工夫をしていく。感染拡大防止の行動基準や BCP の作成に取り組んでいく |
|--|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 日	令和4年11月28日（13：50～14：05）
---------	-------------------------

7. 運営

メンバー	森本・原・西尾と・帰山・笠川
------	----------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	4人	人	人	6人

前回の改善計画	・これからも現状をしっかりと把握し、きらめきでできること、積極的な地域への参加を継続していく
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナ禍でも感染対策をしっかりと行い、地域での感染状況を把握しながら可能な限り地域行事への参加は継続している。 ・意見や苦情に対しては報告ができ、迅速に対応できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	3	1		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	3			6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	1	1		6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3	3			6

できている点	
--------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・利用者の家族様からの意見などは報告している。・近所の畑を借りて野菜などを作り、地主の方との交流がある。・利用者、家族、地域からの意見や苦情に対して直ぐに対応できるようにしている。・電話や訪問で即日対応している・現在、苦情は発生していない・利用者や家族、介護者からの意見や苦情を運営に反映している |
|--|---|

できていない点	
---------	--

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・自分自身は地域への行事、活動には参加していない。・運営推進会議に代表以外の職員が参加できていない。・地域で行われている行事への参加ができていない。・きらめき内の行事は縮小されている。・地域の方からの意見や苦情があまり届いてない。 |
|--|---|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・運営推進会議や地域への活動に参加できるように勤務の調整をする。・意見や苦情に対しては、報告・連絡・相談にて迅速に対応する。・あいさつ、言葉づかいなど接遇マナーを身につける |
|--|--|

事業所自己評価・ミーティング様式	実施 日	令和4年11月30日（13：45～14：00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	東野・笠川・西尾と・帰山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	人	2人	人	6人

前回の改善計画	・多職種連携会議に参加するようにする（他事業者や他職種の方との交流にて情報を共有する） ・書籍や色々な外部からの情報を得て自施設全体の向上を図っていく（法改正に伴い色々な研修ができたので受講するようにする） ・介護福祉士の資格取得の職員が1名、介護職員初任者研修受講の職員が1名（みんなでスキルアップしていく）
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修はZOOM、リモートで全員参加できている。職場内研修も職場会議の時間を利用してできている ・同じ情報を共有することでコミュニケーションがとれている。 ・新型コロナウイルス感染についての情報を常に共有し対策について理解しながら実施できている。 ・資格取得のための研修受講、1月末に受験予定している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	1			6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	1	2		6
③	地域連絡会に参加していますか	4		2		6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	3		1	6

できている点	
--------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ ZOOM で外部研修が参加しやすくなって参加ができている。・ 生協主催の 5 年目研修に参加した。・ ケアマネジャーの研修に参加した。夜の研修にも参加を行った。・ 地域連絡会（年 2 回）に参加し、情報共有を通して連携強化できた。・ 介護福祉士の資格取得のための研修を受講した。・ 事業所の会議には参加している |
|--|--|

できていない点	
---------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 資格取得やスキルアップができていない・ コロナ感染での職員応援体制時に備えて、「利用者個々の日々の介護支援内容」を书面化できていない。・ 利用時、状態変化時の利用者情報の更新ができていない。・ 資格取得のため研修や勉強会など進んで参加するようにしたい |
|--|--|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 職員の多職種連携の研修参加を促し、多職種との交流を通してそれぞれの役割を知る |
|--|--|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施 日	令和4年12月2日（13：30～13：45）
---------	------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー	原・森本・笠川・西尾と・東野・帰山
------	-------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	2人	人	人	6人

前回の改善計画	・成年後見制度を必要とする利用者の思いと能力を感じ取り、包括や社協と連携していく ・制度を理解する（学習会を行う） ・担当利用者の高齢者虐待リスクアセスメントシートの必要性和内容の確認をする
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束、虐待は行われていない。プライバシーが厳守されている ・虐待研修・身体拘束研修参加は全職員が受けている ・高齢者虐待リスクアセスメントシートに関してはケアマネジャーが情報として記載し活用している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5	1			6
②	虐待は行われていない	6				6
③	プライバシーが守られている	4	2			6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6				6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	1			6

できている点	
--------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 利用者の思い、社会資源との連携で支援をしている・ 個人情報鍵のかかる棚に保管している。・ 虐待防止、接遇研修を開催した。・ 虐待や身体拘束はしていない・ 成年後見制度を利用する（包括、社協と連携）・ 成年後見人制度が必要な方に活用できるようになった。・ 認知症がかなり進行している利用者に対して虐待リスクアセスメントシートは重要と思われる。・ 後見制度の研修受講を行った。今回後見人がついたことで後見人の方ができること、できないことが分かったが、それでは利用者の生活は安心できないのだと行き詰まりも感じた | |
|---|--|

できていない点	
---------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ いろんな制度を学習して知識として活かしていく。積極的に学習会に参加する・ 成年後見制度の学習会（制度の理解）・ 成年後見にはつなげることができたが後見人の方が忙しすぎて本人に必要な支援が後手後手に回ってしまっている。また、本人の意向の確認（ACP）を、交わりをもった時点で行うべきだったと反省している（ケアマネジャー）・ プライバシーが必要な時に、周りを気にかけなかったり大きい声になってしまう時がある。 | |
|---|--|

次回までの具体的な改善計画	
---------------	--

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 成年後見制度の確認と理解（学習会を行う）・ 担当利用者の高齢者虐待リスクアセスメントシートの必要性和内容の確認の継続（ケアマネジャー視点だけでなく、送迎時の家族や利用者の言葉や表情など、介護員からの情報も必要となる） | |
|---|--|